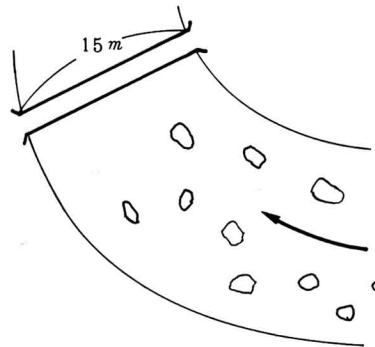


- ③ 川底にあるレキの平らな面に注意して、平らな面は、流れに対してどのような方向になっているか調べる。
- ④ 石をつんで護岸工事がなされているのは、川が曲がっている内側か、外側か。
- ⑤ この付近の川原は、川の上流に位置するので、川底には、1 m大の大きなレキが散在しているのが特徴である。



## 石 住 小 学 校

### 1. 地層の観察

- (1) 調べる場所

職員住宅の裏の崖

- (2) 露頭の岩石の説明

この崖で観察される岩石は、黒雲母結晶片岩と呼ばれる変成岩で片理の走向は、N 10 W・傾斜は 80 Wを示しています。この地域は阿武隈変成帯で、低温高圧型の変成岩が分布しています。

これらの変成岩のものの岩石は、古

生代または、中生代(疑問が多くある)の地層で中生代末の大規模な地殻変動

(佐川造山運動)で変成されてできあがった岩石です。従って、地層の教材としては、別の場所で学習する必要があります。

